

# 学校法人エリザベト音楽大学

2021(令和3)年度

2021(令和3)年4月1日から2022(令和4)年3月31日まで

## 事業報告書

### 1. 法人の概要

#### ①建学の精神・教育理念・行動標語

##### 【建学の精神】

大学の究極目的は、人間社会全体の形成であり、従って、個人の完成である。芸術は、人格の開発と表現のためにも、神との一致の道を切り開く人間相互の一致のための手段としても重要であることから、本大学は、人格完成を芸術、特に音楽の観点から強調するのである。

それゆえ、深く音楽芸術に関する理論および技能を教授研究するとともに、広く知識を授け、良識ある音楽家を育成することを旨とする。

1. 本大学は、カトリシズムの精神に基づいて創立され、かつそれを指導原理としている。
2. 本大学は、カトリック・イエズス会の教育方針に従い、一般教育科目および外国語科目にも力を注いでいる。
3. 本大学は、すべての人々は兄弟・姉妹であるという精神から、家族的雰囲気をもととする学生1人1人とのきずなを教育の礎としている。
4. 本大学は、一般音楽のほかに、グレゴリアン・チャント、ポリフォニーおよび現代宗教音楽等の教授・研究において他にみない特色を有している。
5. 本大学は、国際的な友好関係のもとに維持されており、日本古来の文化と西欧文明との融合をその究極の使命としている。
6. 本大学は、音楽芸術をとおして、神秘的観想の精神に達することを究極の教育理想としている。

##### 【教育理念】

《 教養・実力・慈愛のある音楽家の育成 》

カトリシズム（普遍性）の精神に基づき、  
幅広い教養・専門教育をとおして、  
自分を高め、「他者のために生きる」人材を養成する。

音楽芸術および音楽教育に関する  
理論、技能および実践の教授研究により、  
真に芸術を愛し「美」の追求に真摯な人材を養成する。

平和を愛し、  
地域社会および国際社会、とりわけアジア地域に  
貢献する人材を養成する。

##### 【行動標語】

音楽をとおして 私が変わり 世界を良くする人になる

## ②学校法人の沿革

年 月 日	沿 革
1947(昭和22)年9月	広島音楽教室開設(現エリザベト音楽大学付属音楽園)
1948(昭和23)年4月	県公認広島音楽学校開設
1950(昭和25)年1月	財団法人広島音楽学校に名称組織変更
1951(昭和26)年3月	学校法人広島芸術学園に名称組織変更
1952(昭和27)年3月	学校法人エリザベト芸術学園に名称組織変更
1952(昭和27)年4月	エリザベト音楽短期大学(2年制) 開設
1954(昭和29)年4月	宗教音楽専攻科(1年制) 設置
1959(昭和34)年4月	エリザベト短期大学と改称(音楽科3年制、宗教科2年制)
1961(昭和36)年12月	ローマ教皇庁立宗教音楽院の姉妹校となる(BMS宗教音楽士の授与認可)
1963(昭和38)年4月	学校法人エリザベト音楽大学に改称、4年制のエリザベト音楽大学昇格開設、3年制短期大学と宗教科廃止
1967(昭和42)年4月	音楽学部音楽学科宗教音楽専修を宗教音楽学科として増設 (音楽学科・宗教音楽学科の2学科編制)
1976(昭和51)年4月	音楽学部声楽学科、器楽学科増設 (音楽学科・宗教音楽学科を加えて4学科編制)
1980(昭和55)年4月	音楽専攻科(1年制) 開設
1990(平成2)年3月	音楽専攻科廃止
1990(平成2)年4月	大学院音楽研究科修士課程設置
1993(平成5)年4月	大学院音楽研究科音楽専攻博士後期課程設置
2001(平成13)年4月	音楽学部を改組、音楽文化学科、演奏学科開設
2003(平成15)年4月	音楽文化学科幼児音楽教育専修開設(幼稚園教職免許課程設置)
2006(平成18)年3月	音楽学科、宗教音楽学科、声楽学科、器楽学科の4学科を廃止
2011(平成23)年3月	日本高等教育評価機構から平成22年度大学機関別認証評価の認定
2018(平成30)年12月	新3号館竣工および既存施設(セシリアホール・1号館・本館・333教室等)改修完了
2018(平成30)年3月	日本高等教育評価機構から平成30年度大学機関別認証評価の認定
2018(平成30)年度	創立70周年記念事業コンサートシリーズ実施
2018(平成30)年8月	アセアック(ASEACCU: 東南・東アジアカトリック大学連盟総会・学生会議)を本学で開催
2019(令和元)年度	セシリアホール開館40周年&記念コンサートシリーズ開催
2022(令和4)年3月	東広島市と包括連携協定締結

③設置学校の学部学科等学生定員・在籍学生数

当法人の設置する大学の学部学科等、学生数の状況は次のとおりです。

エリザベト音楽大学

音楽学部 (( ) 内は入学定員/収容定員)

音楽文化学科 (20人/80人)

演奏学科 (50人/220人)

合計 (70人/300人)

大学院音楽研究科 (( ) 内は入学定員/収容定員)

修士課程

音楽学専攻 (3人/6人)

宗教音楽学専攻 (2人/4人)

声楽専攻 (3人/6人)

器楽専攻 (12人/24人)

合計 (20人/40人)

博士後期課程

音楽専攻 (3人/9人)

2021年5月1日現在における在籍学生数は、次のとおりです。

音楽学部

(単位:人)

大学院音楽研究科

(単位:人)

	1年	2年	3年	4年	計
音楽文化学科	14	19	14	10	57
演奏学科	44	57	39	45	185
計	58	76	53	55	242

	1年	2年	3年	計
修士課程	6	23		29
博士後期課程	0	0	2	2
計	6	23	2	31

④教職員

2021年5月1日現在における教職員の状況は、次のとおりです。

学長	教授	准教授	専任講師	専任教員計	兼任講師	専任職員	兼任職員
1	14	9	8	32	118	21	5

平均年齢 専任教員: 51.8歳 専任職員: 55.0歳

⑤役員・評議員

2021年5月31日現在における役員・評議員の状況は、次のとおりです。

種別	寄附行為の規定(選任条項)	定員	現員	氏名(敬称略)	
理事	第5条 第12条	(1)学長	1	1	川野祐二
		(2)評議員	2~3	2	中村英昭、木阪信子
		(3)学識経験者	1~2	1	山城宏樹
		(4)イエズス会日本 管区長の推薦者	1	1	梶山義夫
	合計	5~7	5		
監事	第5条、第13条	2~3	3	三好彰、下崎邦明、遠藤秋実	

		合計	2～3	3	
評議員	第 17 条 第 2 項 第 21 条	(1) 法人の職員	2～3	3	馬場有里子、柴田美穂、福原之織
		(2) 学校卒業生	2～3	2	永岡敏彦、森佳代子
		(3) 理事互選	5～7	5	川野祐二、中村英昭、梶山義夫、山城宏樹 木阪信子
		(4) 学識経験者	6～7	6	三島豊、市川太一、村上健、飯田美智子、 大方幸一郎、白浜満
		合計	15～20	16	

## ⑥責任限定契約の状況

私立学校法に従い、2020年4月1日付けで責任限定契約を締結した。

### ・対象役員の氏名

非業務執行理事（中村英昭、梶山義夫、木阪信子、山城宏樹）

監事（三好彰、下崎邦明、遠藤秋実）

### ・契約内容の概要

非業務執行理事および監事が任務を怠ったことによって生じた損害について、この法人に対し賠償する責任は、その職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、金20万円以上であらかじめ定めた額と私立学校法において準用する一般社団法人および一般財団法人に関する法律で定める額とのいずれか高い額を責任限度額とする。

## 2. 事業の概要

### (1) 大学経営の取り組み

#### ①建学の精神・教育理念の実現のために

2021年度も年間をとおして新型コロナウイルスの感染状況に留意しながらの教育活動となりました。前年度からの感染予防策の定着に加え、情報収集と経験値を生かして、基本的に対面授業を実施し、定期演奏会（10月）、クリスマスコンサート（11月）および卒業・修了関連行事も無事終えることができました。しかしながら、前年度に引き続き学生・教職員がアジア各地のイエズス会学校を視察し、演奏を行うなどの交流は実施出来ませんでした。

毎年4月に開催されるゴーセンス記念講演会は、上智大学のサリ・アウガスティン教授（イエズス会司祭）による講演「イエズス会教育（理念）とSDGs」を開催しました。

#### ②学生数確保の取り組み

昨年度来、コロナ禍での学生募集活動には多くの制限が余儀なくされる中、進学ガイダンスおよびオープンキャンパスについては状況に応じてできることを実行しました（詳細は後述）。業者主催による高等学校内ガイダンスも多くが中止となりましたが、各校（教諭等）とのコミュニケーションおよびコンクールでの情報共有などをおして、受験生情報の収集を行いました。また、高校生向けツールとして、大学公式インスタグラムと連動した高校

生応援WEBサイトを開設しました。

### ③中長期計画に沿った将来計画の策定

施設・設備および財政に関する中長期計画の大幅な見直しは行いませんでしたが、建物設備簡易診断に基づく施設・設備補修計画による補修および経年変化（劣化）についての改修を行いました。これからも施設・設備の経年変化（劣化）については、安心安全な施設・設備利用に必要な改修を着実にを行います。

西条キャンパスに関しては、幟町キャンパスの校舎及び音楽ホールの建て替え計画を視野に入れ、利活用策の検討を継続して行います。

### ④国際交流について

2022年3月、日本政府よりビジネスマンと留学生を対象とした入国緩和が発表され、「水際対策強化に係る新たな措置（27）」に基づく手続きに従い、留学生の入国・入学の準備を支援し、留学生の渡日が2年ぶりに実現しました。その際、広島県からの「留学生受入緊急支援事業」に申請し、待機期間が求められる留学生を対象に、入国後の宿泊費を県と本学が共同で負担しました。

## (2) 教学について

### ①教学改革について

2022年度からの新カリキュラム導入のために、関係する役職教員を中心にして会議を重ねました。大きな変革を迎えるにあたり、新年度にむけての全教職員・学生への周知の準備を行いました。学生の4年間の学びを充実させ、成果を明示する「学修の可視化」については、ソフト開発も含め協議を継続させています。

本学では昨年に引き続きICT教育に対応するためのパソコン購入、ハイフレックス授業にも対応可能な環境整備を更に進めました。

授業支援システム「イーチ」の充実のために導入したプログラム（クラスプロファイル、出欠管理）の活用も定着し、オンライン授業に迅速に対応できるようになりました。学生専用スマホアプリも順調に機能し、学生生活の充実に役立っています。

コロナ禍で数多くの制約があるものの、研究発表、演奏活動の場の創出を続けました。

### [音楽文化学科]

音楽文化学科では、「専門性が高く充実した教育達成」を基幹目標として、前2年間にわたって問題点の洗い出しと意見収集を広く実施し、2021年度はその結果に基づく新カリキュラムの設計をしました。

音楽文化専修では、各学問領域の段階的学びを重視した授業内容の改善に努めました。2020年度から試行的に取り入れてきた希望調査に基づく、演習科目の柔軟な個人指導は、

学生からの評価と一定の学習成果がみられたことから、継続します。

幼児音楽教育専修は、2021年度に文部科学省による課程認定の審査を受け、2022年度以降の幼稚園教職課程の設置基準を満たしていると認定されました。また、音楽大学の幼稚園教職課程としてふさわしい音楽的な資質・能力と教育理論の融合を目指して、幼児期の音楽教育に必要な指導力の育成に取り組みました。具体的には、保育現場で実践可能な音楽指導に加え、これからの幼児教育の方向性に沿った保育実践に注力しました。また、社会貢献活動として、幼児を対象とした音楽を楽しむ場を提供しました。

#### [演奏学科]

演奏学科では一昨年より継続的に行われた議論を経て、2022年度からの実施に向けて新たなカリキュラムを設定しました。学生や保証人からの関心の高い卒業後の進路を見据え、科目の整理を行うと共に、各専攻に3つの履修プログラムを新設し、明確な目標を持ちながら基礎力と専門性を高める学修の仕組みを拡充しました。

また、長年にわたり運用中のカテゴリ制に代わり、「各々のレベルに合った学修」という考えはそのままに、学生の現状に合わせて深く丁寧に卒業へ向けてステップアップができる新しい実技学修システムを、2022年度入学者からの適用に向けて構築しました。同時に、学生自身による毎回のレッスンの記録や、実技試験時に教員が個々の学生に対して記入するチェックシートをとおして、教員と学生の間で情報共有と交流を行う「実技カルテ」も導入します。

特別講師を海外から招聘して行われる講座・公開レッスンは、コロナの影響で残念ながら中止が相次ぎましたが、一部のレッスンについては、新技術である遠隔自動演奏ピアノによるウィーンと広島を繋いだオンラインレッスンを開催するなど、将来に向けた模索を試みました。

年間を通じて開催された演奏会や発表会においては、オーケストラ・合唱での学生の貴重な演奏機会が感染症対策を慎重に施しながら維持され、授業あるいは特別練習において教員との共同作業による効果的な学習経験を数多くもつことができました。

#### [大学院]

コロナ禍での対策として、オンラインを活用した留学生入学試験を初めて実施し、これにより2名が合格しました。さらに、政府の水際対策緩和により、入国待ち状態にあった入学予定者と合わせ、計7名の留学生の入学が決まりました。大学院公開講座は、コロナ禍の影響で前年度と同じく海外からの講師招聘はできませんでしたが、国内から著名講師を招き、講座を実施しました。

魅力ある修士課程・博士後期課程に向けた取り組みについては、学部のカリキュラム改訂完了を視野に入れつつ、現行入試制度の問題点や改善可能性などの検討に着手しました。

#### ②学生生活支援

学生の人間的成長と自立を促すため、学生にとって必要な時宜を得た内容を選び、合同オリエンテーションを実施しました。学生会主催行事の大学祭は中止になりましたが、クリスマスパーティは、飲食をせず、コロナ対策に留意して実施しました。

学生生活センター室長を中心に学生生活委員会を定期的で開催しています。とりわけ、配慮の必要な学生、生活面での悩みや課題を抱えた学生および障がいを抱えた学生については、教職員間で連携を密にして、状況の改善を図りました。

学力・演奏等の支援については、学習支援アシスタントからの個別指導に繋ぎ、理解力・技術力の向上を図っています。学生への連絡は、学生用ポータルサイト「イーチ」を活用し、生活面・行動面での自覚や自発的な行動を促しています。

経済的支援については、日本学生支援機構の給付奨学金、大学の入学金・授業料等減免の迅速な対応にあたりました。奨学金受給学生がより充実した学生生活を送れるよう、面談・個別指導を実施し、意識の向上を促しました。

また、これらの奨学金とは別にコロナ対応のための学生への修学支援策として次のとおり大学独自の奨学金を支給しました。

月	奨学金の内容	対象	金額
7月以降	新型コロナワクチン（1、2回目）接種補助金	接種学生	3,000円、4,000円、5,000円 (金額は接種会場により異なる)
11月以降	インフルエンザ予防接種補助金	接種学生	上限3,000円
2月以降	新型コロナワクチン（3回目）接種補助金	接種学生	一律1,500円

#### 〔就職・進学サポートについて〕

##### ア) 支援体制

キャリア支援室をはじめ、学長並びに教職員で組織されたキャリアサポート委員会、学生生活センター室長、ホームルーム担任、指導担当教員が連携してきめ細やかな対応をするとともに、教職に関しては、教養・教職主事が中心となり支援を行い、教員採用試験受検についても、関係する教員が計画的に実践的指導を行いました。

##### イ) 進路面談

3,4年生全員に対して「進路希望調査票」をもとに個人面接を行い、キャリア意識の醸成、就職、進学の意識確認を行いました。

##### ウ) 進路オリエンテーション、YouTubeチャンネル（キャリア支援編）

2021年度は新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から進路オリエンテーションは中止としました。新たにエリザベト音楽大学YouTubeチャンネル【キャリア支援編10本】をスタートさせ、卒業後、各分野で活躍する方々からのメッセージを動画でわかりやすく伝えました。

##### エ) 就職状況

学部卒業生52人の内、就職希望者38人に対する就職内定者数は30人で就職希望者に対する就職内定率は78.9%でした。(2022年4月1日現在)

### ③国内および国際交流

#### 〔国内外の交流〕

2021 年度も、国際交流の活動に新型コロナウイルスの影響は続き、国内では留学生支援イベントにおける留学生の演奏活動、海外では8月のASEACCU（東南・東アジアカトリック大学連盟）総会および学生会議（カンボジア・セント・ポール大学）の開催、四川音楽学院やセント・トマス大学でのマスタークラス、演奏会などが延期、中止となりました。

海外での国際交流コンサートは延期となったものの、定期演奏会およびクリスマスチャリティコンサートでの収益を、ザビエル・ラーニング・コミュニティ（タイ）および聖ジョアン・デ・ブリトー教育大学（東チモール）へ寄付する形で支援を実現しました。

一方、海外プログラムは、オンライン形式で実施可能な活動の一部は開催され、本学も参加することができました。具体的には、10月にASEACCUのウェビナー“Beyond the Pandemic: Best Practices towards Sustainable Development”がZOOMで開催され、本学からは教職員3名が参加しました。さらにAJCU-APイグナチオイヤーにおいては、“Career to Vocation” or “Profession to Purpose”をテーマとし、8月はOn Line Round Table Discussion for Studentsに本学学生5名が英語で発表を行い、3月のOn Line Round Table Discussion for Faculty Membersでは本学教員3名が発表を行いました。また、翌年2022年度5月のShort Video Competition（学生）に向けて、学生は準備を進めています。

#### 〔国外交流協定校との交流事業〕

中国の東北師範大学人文学院が長春人文学院へと大学を再構築（改名）したことにより、本学と長春人文学院間で交流協定を再締結しました。

### ④演奏活動

2021年度は、予定していた演奏会のうち、新型コロナウイルスの影響により海外在住のマーティン・ヒューズ客員教授の来日がかなわず中止となりましたが、その他の演奏会については予定通り開催することができました。感染防止策を徹底し、定期演奏会は2日間に分けて開催しました。また、クリスマスコンサートは全学生が出演することから、会場をフェニックスホールに変更したことにより密集が回避でき、質の高い演奏会を実施することができました。

中止となったものも含め予定していた各演奏会の出演者等の詳細は次のとおりです。

日程	演奏会名・行事名・会場・出演者	備考
4/10(土)	第4回ESpoir新人演奏会(くらしき作陽大学藤花楽堂) 【エリザベト音楽大学・くらしき作陽大学 大学間包括交流協定事業】 本学新卒者4名	
6/12(土)	スピリチュアルコンサート(セシリアホール) 共催:(公社)日本産業退職者協会 ピアノ:中谷政文、リコーダー:鈴木俊哉、パイプオルガン:福原之織、吉田仁美	コンサート シリーズ

9/17(木)	秋季大学院新人演奏会(セシリアホール) 1名出演(ヴィオラ:サウンチェン・パッタラポ)	
10/16(土) 10/17(日)	エリザベト音楽大学 第80回定期演奏会(セシリアホール) 声楽ソロ:岩原綾子 久保里瑛子 オルガン:伊藤亜夢美 指揮:太田弦 演奏:エリザベト音楽大学合唱団・交響楽団	
11/5(金)	マーティン・ヒューズピアノリサイタル(セシリアホール) ピアノ:マーティン・ヒューズ(客員教授)	中止
11/19 (金)	フランス音楽のタベ 井上二葉先生をお迎えして(セシリアホール) ピアノ:井上二葉 柴田美穂 声楽:林裕美子 下岡輝永 演奏:エリザベト音楽大学合唱団	コンサート シリーズ
12/5(土)	チャリティークリスマスコンサート(国際会議場フェニックスホール) 指揮:大谷研二 寺沢希 大井剛史 演奏:エリザベト音楽大学合唱団・交響楽団	会場をセシリアホールから変更
3/3(木)	春季大学院新人演奏会(セシリアホール) 3名出演(打楽器:小川智也、ピアノ:室川桃子、ソプラノ:岩原綾子)	
3/6(日)	卒業研究発表・演奏会 音楽文化学科(ザビエルホール) 研究発表:音楽文化専修(音楽教育)1名、幼児音楽教育専修 1名 作品発表:音楽文化専修(音楽創作・作曲)1名 卒業演奏会 演奏学科(セシリアホール) 独奏/(声楽 3名、ピアノ 3名、オルガン 1名、管弦打楽器 3名) 卒業生全員合唱	

#### ⑤学生募集活動および広報活動について

[学生募集について]

進学ガイダンスは中四国・九州 12 会場で開催を計画しましたが、公共施設の使用制限などから 5 会場が中止、2 会場が延期となりました。実施した 5 会場では、施設の都合で会場変更したケースもありましたが、対面での実技レッスンとリモートレッスンを併用して行ったほか、個別相談会も実施しました。

6 月、7 月、8 月に夏期オープンキャンパスを、また 10 月には定期演奏会と重ねてオータムフェスティバルを実施しました。オープンキャンパスではコロナ対策の一環として、完全予約制による動員管理を行いました。また、遠方からの参加に対する交通費補助制度も継続しました。今年度は交通費補助の適用回数の制限を廃し、複数回参加する熱心な高校生への支援強化となりました。

本学教員による出前授業については、受け入れ高校の都合もあり 11 件の実施にとどまりました。年度末あたりから出前授業の問い合わせが少しずつ入るようになり、次年度は実施件数を伸ばしてまいります。

2021年度(2022年4月入学)の入試状況については、出願者68人、入学者54人で、出願者に占める入学者の割合は79.4%となりました(前年度:出願68、入学57、割合は83.8%)。今年度、専願で出願した受験生が複数名不合格になったことを踏まえ、出願者の所属する高校の先生および日頃レッスンをされている指導者等との連絡を密にし、早い段階で実技等の進捗状況が把握・共有できるよう心掛けてまいります。

#### [広報活動について]

コロナ禍で、高校訪問など直接的な広報活動が制限される中、大学ホームページ、高校生応援WEBサイトおよび各種SNSを利用した情報発信については、更新頻度を高めるよう留意しました。引きつづき、高校生を中心とした若い世代への訴求力を高めていきながら、親御さん世代への訴求についても検討します。

次年度に向けた新たな取り組みとして、大学広報に関する代行業務委託契約を広島県外在住の複数の卒業生と結び、各エリアで広報活動を展開します。広島県から各都市へ移動する従来の広報(高校訪問等)に加え、より地域密着型の大学広報活動を展開し、認知度の向上および情報収集力の向上を図ります。

#### ⑥教職員研修および教職員評価について

教職員研修としては、教職員および非常勤教職員を対象に以下の研修機会を設けました。4月のゴーセンス記念講演会では上智大学サリ・アウガスティン教授(イエズス会司祭)による講演「イエズス会教育(理念)とSDGs」を実施しました。9月の教職員研修会では甲南大学の高石恭子教授による「LGBTおよび障害学生支援における合理的配慮」の研修(オンライン)に加え、高等教育政策の現状に関する情報共有、研究倫理に関する研修を行い、専任教職員全員および非常勤教職員の希望者が受講しました。

また教職員は、学外の研修会(キャリア教育・就職ガイダンス、学生生活指導における取り組みに関する研修会、「改正女性活躍推進法」等オンライン説明会、カトリック学校法人リーダー研修会等)にも参加しました。さらにFD活動の一環として、前・後期にそれぞれ授業参観期間を設け、専任教職員および希望する非常勤教職員による授業参観および意見交換を行いました。

教職員評価として、「年度目標と成果・反省」および「次年度目標」を記載した自己申告書(面談シート)に基づき、理事長は全ての専任教職員と個人面談を行いました。教員の業績評価は、毎年9月に提出される教育研究業績書を基に学長および役職教員が行い、次年度の昇任審査他に活用しました。

### (3) 管理について

#### ① 土地・施設設備の概要

本学の現有土地・施設設備の状況は次のとおりです。

建物 (単位: m<sup>2</sup>)

			新築年月日 (登記簿記載日)	教室	演習室 (レッスン 室)	実習室 (自習室・院 生研究室含 む)	研究室	図書室	管理用	寄宿舎	その他	合計
幟町学舎	旧神父館	鉄筋コンクリート 造陸屋根鋼板葺4 階建	1979/7/10 (2015/2/17)	53	14	33	17	0	291			408
	1号館		1979/7/10	810	261	167	21		1,370			2,629
	本館	鉄筋コンクリート 造鋼板葺5階建	1982/8/31	188	59		148		845			1,241
	2号館	鉄骨鉄筋コンク リート造陸屋根・ ステンレス鋼板葺 9階建	1996/3/31	659	263	181	300	129	2,620			4,150
	3号館	鉄筋コンクリート 造陸屋根7階建	2016/8/31 (2017/3/27)	291	133	62	54	266	1,028			1,834
	4号館		1989/8/31	276	18	377	18	188	762			1,639
小	計			2,276	748	821	557	583	6,916	0	0	11,901
西条学舎	1号館	鉄筋コンクリート 造ステンレス鋼 板・スレート葺2階 建	1987/7/24	729		0			670			1,399
	2号館	鉄骨造亜鉛メッキ 鋼板葺平屋建	1964/12/31								243	243
	3号館	鉄筋コンクリート 造スレート葺平屋 建	1987/7/24		70				55			125
	4号館	木造瓦葺平屋建	1965/4/13								68	68
	5号館	鉄筋コンクリート 造スレート葺平屋 建	1987/7/24	48					24			72
小	計			777	70	0	0	0	749	0	311	1,907
学生寮(橋本町)		鉄骨鉄筋コンク リート鉄筋コンク リート造ルーフィ ング葺9階建	1985/1/30			0				2,431		2,431
総合計				3,053	818	821	557	583	7,665	2,431	311	16,239

\*使用中の建物は、耐震性を満たしている。(西条学舎2号館、4号館は現在使用していない建物)

土地 (単位: m<sup>2</sup>)

	校舎等	運動場	その他	寄宿舎	合計	備考
幟町学舎	4,890				4,890	うち借地 872
西条学舎	27,594	8,279			35,873	
学生寮				637	637	
合計	32,484	8,279	0	637	41,400	

## ②施設設備の改修等

今年度は、施設・設備補修計画のうち、受変電設備等の改修工事を行いました。経年変化（劣化）による施設設備の修繕・更新では、練習室等の空調設備（エアコン）工事を行いました。また、コロナウイルス対策のため、広島県の遠隔講義システム関連機器等整備促進補助金（補助率 1/2 以内）を受けオンライン授業のための環境設備を行いました。

女子学生寮セシリアホームについても厨房への食器洗浄機の設置および 1 階の食堂等の床の張替え改修を行いました。

コロナウイルス対策および経年変化（劣化）による施設設備の修繕・更新が中心となりましたが、ソフト・ハードの両面から、早急な対応に心掛け、安全・安心で快適な設備環境で教育・研究が行えるよう努めました。

2021 年度に行った主な更新・改修工事関係は次のとおりです。

月	内 容
4 月	学内無線 LAN 機器の追加設置工事
6 月	1 号館南側 2 階～4 階練習室等空調機更新工事
8 月	本館樋漏れ対策工事
8 月	4 号館 7 階練習室空調機器更新工事
9 月	学生寮セシリアホーム厨房への食器洗浄機設置工事
9 月	506 教室 600 会議室遠隔講義システム整備工事
11 月	1 号館受変電設備等設備改修工事（2021 年度計画分）
2 月	4 号館練習室空調機器更新工事
2 月	906 教室空調に係る自動制御機器交換修繕工事
3 月	鞆町キャンパス消防設備等改修工事
3 月	学生寮セシリアホーム 1 階床張替え改修工事
3 月	1 号館給水加圧ポンプ更新工事
3 月	224, 501 教室 AV 設備改修工事
3 月	パソコン実習室のパソコン・ディスプレイ等の更新

## ③付属音楽園

付属事業である付属音楽園では、音楽園と大学教育の連携を深めるさまざまな取り組みを実施しています。前年度は、コロナ禍の影響で、年間をとおして行われる行事の中には開催中止となったものもありましたが、今年度は、このような状況の中でも、感染症対策に十分留意しながら、ほとんどの行事を開催することができました。在園生の魅力および満足度をあげる努力を行い、前年度と比較して、在園生数が増加となりました。引続き音楽園の諸活動を活性化させ、募集活動の充実を図ります。

エクステンションセンターにおいても、年度計画にあげた中の 1 講座がコロナ禍の影響で開催中止となりましたが、それ以外の講座は開催することができました。また、レッスン指導の実施においても、感染症対策に留意しながら日々のレッスンを実施いたしました。今後も、在学生および卒業生等学外者に対しても充実したプログラムの実施に努めます。

### 3. 財務の概要

#### (1) 決算の概要

##### ①貸借対照表の状況

資産の部合計は前年度末比 390 百万円増加して、15,688 百万円となりました。また、基本金は、第1号・第2号・第3号の基本金の組入れにより 483 百万円増加して、13,872 百万円となりました。

資産の部合計から負債の部合計を差し引いた純資産の部合計は前年度末比 376 百万円増加して、15,198 百万円となりました。

##### ②収支計算書の状況

###### ア) 事業活動収支計算書

事業活動収入計が 1,357 百万円、事業活動支出計が 981 百万円となり、基本金組入前当年度収支差額はプラス 376 百万円となりました。

基本金組入後の当年度収支差額はマイナス 108 百万円となり、前年度繰越収支差額 1,433 百万円と加算した翌年度繰越収支差額は 1,325 百万円となりました。

###### イ) 資金収支計算書

当年度の施設関係支出は、セシリアホールの受変電設備更新工事等で 32 百万円となりました。設備関係支出は、教育研究用機器備品の充実などにより 37 百万円となりました。

###### ウ) 活動区分資金収支計算書

教育活動資金収支差額はマイナス 174 百万円、施設整備等活動収支差額はマイナス 439 百万円、その他活動資金収支差額はプラス 605 百万円となり、当年度支払資金は 8 百万円減少しました。これに前年度繰越支払資金 116 百万円を加算した翌年度繰越支払資金は 108 百万円となりました。

#### (2) 経年比較

##### ①貸借対照表

(単位：千円)

	2017年度末	2018年度末	2019年度末	2020年度末	2021年度末
固定資産	13,238,443	13,791,584	13,984,981	14,294,839	14,785,474
流動資産	1,061,614	860,433	880,035	1,002,545	902,740
資産の部合計	14,300,057	14,652,017	14,865,016	15,297,384	15,688,214
固定負債	317,712	297,226	285,285	394,828	361,315
流動負債	79,780	74,109	91,990	80,322	128,649
負債の部合計	397,492	371,335	377,275	475,150	489,964
基本金	12,431,894	12,679,131	13,076,178	13,389,115	13,872,816
繰越収支差額	1,470,671	1,601,551	1,411,563	1,433,119	1,325,434
純資産の部合計	13,902,565	14,280,682	14,487,741	14,822,234	15,198,250
負債および純資産の部合計	14,300,057	14,652,017	14,865,016	15,297,384	15,688,214

## ②収支計算書

### ア)資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
学生生徒等納付金収入	453,317	461,602	413,988	441,625	452,154
手数料収入	7,287	5,843	7,425	4,622	4,466
寄付金収入	12,030	7,994	36,852	5,409	5,311
補助金収入	107,087	101,057	62,626	107,249	103,694
資産売却収入	807,856	1,457,992	891,407	1,634,862	1,080,773
付随事業・収益事業収入	41,267	38,701	34,744	23,306	29,891
受取利息・配当金収入	496,915	503,964	489,909	472,659	512,777
雑収入	17,358	64,757	12,745	6,869	48,344
借入金等収入	0	0	20,000	150,000	40,000
前受金収入	68,059	60,755	81,553	55,425	58,869
その他の収入	826,690	879,955	916,270	1,342,149	719,936
資金収入調整勘定	△ 72,862	△ 107,331	△ 61,604	△ 82,494	△ 98,391
前年度繰越支払資金	177,697	122,967	161,068	171,840	116,797
収入の部合計	2,942,701	3,598,256	3,066,983	4,333,521	3,074,621

支出の部	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
人件費支出	474,707	534,014	455,350	447,955	524,241
教育研究経費支出	272,517	237,888	279,567	191,861	187,679
管理経費支出	68,851	77,627	73,280	70,254	69,083
借入金等利息支出	0	0	16	353	372
借入金等返済支出	0	0	20,000	12,497	14,996
施設関係支出	24,122	36,202	177,012	192,170	32,369
設備関係支出	29,720	26,851	26,448	64,351	37,074
資産運用支出	19,939,868	2,489,477	1,852,620	3,224,784	2,070,373
その他の支出	21,053	48,241	18,137	18,183	38,208
資金支出調整勘定	△ 11,104	△ 13,112	△ 7,287	△ 5,684	△ 8,147
翌年度繰越支払資金	122,967	161,068	171,840	116,797	108,373
支出の部合計	20,942,701	3,598,256	3,066,983	4,333,521	3,074,621

## イ)活動区分資金収支計算書

(単位：千円)

科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	638,346	679,955	568,380	589,079	643,860
教育活動資金支出計	816,075	849,529	808,196	710,069	781,003
差引	△ 177,729	△ 169,574	△ 239,816	△ 120,990	△ 137,143
調整勘定等	23,350	△ 46,697	59,086	△ 27,305	△ 36,802
教育活動資金収支差額	△ 154,379	△ 216,271	△ 180,730	△ 148,295	△ 173,945
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	442,594	149,063	280,136	996,673	582,774
施設整備等活動資金支出計	288,732	718,062	603,562	1,352,371	1,020,709
差引	153,862	△ 568,999	△ 323,426	△ 355,698	△ 437,935
調整勘定等	0	4,774	△ 1,146	△ 1,146	△ 1,146
施設整備等活動資金収支差額	153,862	△ 564,225	△ 324,572	△ 356,844	△ 439,081
小計(教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額)	△ 517	△ 780,496	△ 505,302	△ 505,139	△ 613,026
その他活動による資金収支					
その他活動資金収入計	1,661,600	2,692,108	1,998,177	2,602,147	1,769,772
その他活動資金支出計	1,719,136	1,872,899	1,481,032	2,152,501	1,166,154
差引	△ 57,536	819,209	517,145	449,646	603,618
調整勘定等	3,323	△ 612	△ 1,071	450	984
その他活動資金収支差額	△ 54,213	818,597	516,074	450,096	604,602
支払資金の増減額(小計＋その他の活動資金収支差額)	△ 54,730	38,101	10,772	△ 55,043	△ 8,424
前年度繰越支払資金	177,697	122,967	161,068	171,840	116,797
翌年度繰越支払資金	122,967	161,068	171,840	116,797	108,373

ウ) 事業活動収支計算書

(単位：千円)

科目		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	453,317	461,602	413,988	441,625	452,154
	手数料	7,287	5,843	7,425	4,622	4,466
	寄付金	12,030	8,389	36,852	5,409	5,311
	経常費等補助金	107,087	101,057	62,626	107,249	103,694
	付随事業収入	41,267	38,701	34,744	23,306	29,891
	雑収入	37,011	64,757	23,540	18,687	48,344
	教育活動収入計	657,999	680,349	579,175	600,898	643,860
	事業活動支出の部					
	人件費	474,707	509,900	455,349	447,955	506,871
	教育研究経費	396,963	364,665	413,280	346,150	341,993
	管理経費	82,580	92,129	87,996	85,124	86,491
	徴収不能額等	0	0	0	0	0
	教育活動支出計	954,250	966,694	956,625	879,229	935,355
教育活動収支差額	△ 296,251	△ 286,345	△ 377,450	△ 278,331	△ 291,495	
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	496,915	503,964	489,909	472,659	512,777
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	496,915	503,964	489,909	472,659	512,777
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	0	0	16	353	372
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	16	353	372	
教育活動外収支差額	496,915	503,964	489,893	472,306	512,405	
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	149,112	236,946	146,895	293,043	201,328
	その他の特別収入	0	399	0	1	0
	特別収入計	149,112	237,345	146,895	293,044	201,328
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	26,428	76,847	52,279	152,525	46,222
	その他の特別支出	732	0	0	0	0
特別支出計	27,160	76,847	52,279	152,525	46,222	
特別収支差額	121,952	160,498	94,616	140,519	155,106	

基本金組入前当年度収支差額	322,616	378,117	207,059	334,493	376,016
基本金組入額合計	△ 243,741	△ 247,238	△ 397,046	△ 312,937	△ 483,701
当年度収支差額	78,875	130,879	△ 189,987	21,556	△ 107,685
前年度繰越収支差額	1,391,742	1,470,671	1,601,550	1,411,563	1,433,119
基本金取崩額	54	0	0	0	0
翌年度繰越収支差額	1,470,671	1,601,550	1,411,563	1,433,119	1,325,434

(参考)

事業活動収入計	1,304,026	1,421,658	1,215,979	1,366,601	1,357,964
事業活動支出計	981,410	1,043,541	1,008,920	1,032,107	981,948

### (3) 主な財務比率比較

比率名	算式	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額	24.74%	26.60%	17.03%	24.48%	27.69%
	事業活動収入計					
基本金組入後収支比率	事業活動支出	92.56%	88.86%	123.20%	97.95%	112.32%
	事業活動収入計-基本金組入額					
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金	39.25%	38.98%	38.72%	41.14%	39.09%
	経常収入					
人件費比率	人件費	41.10%	43.05%	42.59%	41.73%	43.82%
	経常収入					
教育研究経費比率	教育研究経費	34.37%	30.79%	38.66%	32.24%	29.57%
	経常収入					
管理経費比率	管理経費	7.15%	7.78%	8.23%	7.93%	7.48%
	経常収入					
流動比率	流動資産	1330.68%	1161.04%	956.66%	1248.16%	701.71%
	流動負債					
負債比率	総負債	2.86%	2.60%	2.60%	3.21%	3.22%
	純資産					
純資産構成比率	純資産	97.22%	97.47%	97.46%	96.89%	96.88%
	負債+純資産					
基本金比率	基本金	100%	99.96%	99.97%	98.97%	99.12%
	基本金要組入額					
教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額	△45.02%	△42.09%	△65.17%	△46.32%	△45.27%
	教育活動資金収入計					

(注)「経常収入」=教育活動収入計+教育活動外収入計

(4) その他

①有価証券の状況

区分	銘柄 数量	帳簿価格 (千円)	時価 (千円)	表示科目	摘要
債券	外国債券 89 口	8,624,537	9,300,143	第3号基本金引当特定資産ほか	
	外国債券 3 口	256,581	279,579	有価証券	翌年度満期
	円貨債券 0 口	0	0		
株式	株式 30 銘柄	1,843,359	3,336,738	第3号基本金引当特定資産ほか	
投資信託	なし				
貸付信託	なし				
その他	REIT 11 銘柄	997,968	1,206,899	減価償却引当特定資産ほか	
	外貨 MMF ほか	493,657	558,300	有価証券ほか	
計		12,216,102	14,681,659		

②借入金の状況

借入金の種類	借入先	金額(千円)	摘要
長期借入金	市中金融機関	107,510	返済期限：令和12年5月
短期借入金	市中金融機関	54,996	
	(うち返済期間が1年以内の 長期借入金)	〃	(14,996)
計		162,506	

③学校債の状況

該当なし

④寄付金の状況

寄付金の種類	寄付者	金額(千円)	摘要
75周年記念募金	同窓会	3,196	
奨学資金ほか	後援会ほか	2,115	
一般寄付	篤志家	0	

⑤補助金の状況

私立大学等経常費等補助金	一般補助	81,292 千円 (昨年比 94%)
	特別補助	3,565 千円 (昨年比 85%)
	授業料等減免費交付金	15,062 千円 (昨年比 90%)
市町村補助金		3,775 千円 (昨年比 121 倍)

⑥収益事業の状況

該当なし

⑦関連当事者との取引状況

該当なし

以上、法人の概要、事業および財務の概要について報告いたしましたが、新型コロナウイルス感染拡大の終息が見通せない中で、多方面にわたり本学には厳しい状況が続くことが予想されます。今後も、大学教育研究の充実、経営基盤の確立に向けて、教職員は一丸となり、日々努力してまいります。皆様のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。